様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（１）参加促進	ア　活動情報のＰＲ

具体策	評価 委員会評価	評価 市評価	概要
①活動情報紙の発行	３．７	４	市内外の市民活動に関する情報を収集します。収集した情報のPRと市民協働の発展に必要な情報を掲載する情報紙（センターだよりなど）を発行することで、市民協働に関する関心を高め、市民活動への参加につながる意識啓発に取り組みます。とくに、若年層の関心を高め、市民活動への加入につながる情報発信に努めます。
②活動情報の広報紙やホームページへの掲載	３．４	４	市民活動に関する情報を広く市民に提供するため、「広報とよかわ」やホームページ（市、センター、どすごいネット）などを有効活用するとともに、その充実に努めます。ホームページにおいては、掲載する情報を随時更新し、タイムリーな情報提供に努め、市民協働の意識を醸成します。
③企業情報紙の活用	３．８	４	市民協働を活性化するには、企業の社会貢献活動との連携は不可欠です。企業が発行する情報紙の現状を調査・研究し、市民協働に関する情報の掲載に向けて企業と調整し、掲載の依頼に努めます。
④情報サイトの活用	３．１	３	20歳代から40歳代の市民活動に対する意識を高めるため、「市ホームページ」や「みてみン!」、「どすごいネット」を始め、新たな情報提供媒体として注目されている「ツイッター」「フェイスブック」などを有効活用し、タイムリーな情報を掲載します。また、市民活動団体などがこれらの情報サイトを活用することで、情報の発信や共有が進むよう、情報交流機能の充実を図ります。

委員会の意見

①活動情報紙の発行

・センターだよりを全戸配布している豊川市の事業は評価できる。社協だよりと同時期に折り込みをすると情報が混雑していまうため、時期を変えた方が良いと感じる。
・登録団体の活動をインタビュー形式にしたことにより、活動内容がより分かりやすく興味をひくように感じた。
・センターだよりの年4回、全戸配布は高く評価できます。今後も市民の身近な活動を掲載して、継続してください。

②活動情報の広報紙やホームページの掲載

・どすごいネットは、今後について再検討が必要。広報とよかわ、社協だより、メセナと様々な情報から参加の促進がされていると思う。
・補助金を採択された協働事業がホームページで見ることができるようになったことで、他の市町村にもPRできている。
・市及びセンターのホームページなど活用して、市民活動の情報発信を積極的に行ったことは高評価です。どれだけの人がホームページを閲覧していただけたかの検証を行ってください。
・どすごいネットを知っている人が少ないように思う。
・センターホームページからボランティアの活動情報が得られない。

③企業情報紙の活用

・企業の情報紙についても調査し、連携にむけて動いていると思う。今後も数を伸ばしていけると良いと感じる。
・商工会議所の「メセナ」に記事を掲載できて、市民の目にふれる機会が多くできたことは良い事です。今後、企業が発行している情報紙又はチラシ等に市民活動団体が関わる記事が掲載されると良い。
・商工会議所を企業として捉えるのはどうか。
・前年度の市民意識調査結果をもとに、調査・研究を実施したのは評価する。

④情報サイトの活用

・情報サイトの活用について、研究が必要であり、実績が出ると良いと感じる。
・ホームページ、どすごいネット等でタイムリーな情報提供ができたなら評価できます。ツイッターなどの有効な情報発信についても、調査・研究を進めていく姿勢があれば良いと思います。
・どすごい交流会の参加者が少ないのが気になる。
・ツイッターのフォロワー数が少ないため、あまり活動されていないように感じる。認知度が低い。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	２．７	３．２	３．４	３．７	３．５
（市評価）	２．８	３．３	３．３	３．８	３．８

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（１）参加促進	イ　活動機会や学習機会の提供

具体策			概要
①参加体験型講座の充実			市民の市民活動への関心や参加意識が高まるよう、参加体験型の講座を実施し、市民活動を体験できる場や機会を提供します。講座の企画にあたっては、センターや社会福祉協議会などが実施する講座の内容を調整し、講座の充実に努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	４	４．２	
②多様なニーズに応じた講座の開催			多様化する市民ニーズに対応するため、市民活動団体の専門性や先駆性などを活かした市民活動体験型講座を実施します。既存の市民活動団体の活性化や市民活動参加の裾野を広げるため、人材育成講座を実施します。講座終了後には、参加者のフォローや市民活動の継続のための支援に努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	４．１	４．１	
③生涯学習の充実			生涯学習に関する各種講座を実施し、生涯学習の充実を図ります。オープンカレッジによる市民参加型生涯学習講座への支援を行い、「生涯学習ガイドブック」作成による情報の提供など、市民の生涯学習のきっかけづくりを行います。また、多くの市民が生涯学習に参加できるよう、既存の生涯学習施設を活動の拠点として整備、活用します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．９	４	
④まちづくりへのボランティア参加の調査・研究			市民参加によるまちづくりを促進するため、イベントなどによる「まちづくり事業」でのボランティアの受入状況を調査し、ボランティアに関心や興味を持つ市民に情報を提供します。得られた情報から現状を研究するとともに、先進事例などの調査・研究にも取り組みます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	

委員会の意見

①参加体験型講座の充実

・各課様々な工夫をしながら講座の充実に努めたと評価できる。多くの市民の参加を促し、体験から活動へ促せるとなお良いと感じる。
・多くの方が参加され、今後も期待したい。
・前年度より参加体験型の講座が増え、多くの参加者もいたので、高く評価できます。
・成果として参加者の内訳がわかるとよかった。
・体験型の講座の数が増えたため、評価する。

②多様なニーズに応じた講座の開催

・ニーズの拾い方も今後は工夫できると良いと感じる。
・今後も若者がボランティアに参加したいと思ってくれるような内容の講座が開催されたことがよかった。
・予定通り、市民のニーズに対応する講座を開催でき、若者に特化したボランティア体験講座を実施できたので高く評価します。今後も年々変化する市民のニーズに対応して、より良い講座を開催してください。
・とよかわボラなび「若者ボランティア体験講座」の評判が良い。
・色々な講座があり評価できる。
・講座修了者が活動につながるようなフォローができると良い。

③生涯学習の充実

・各地区で開催されている生涯学習については、今後検討が必要かと思う。オープンカレッジについては、例年通り好評で成果もあると感じる。
・毎年、講座を実施し、市民が生涯学習に参加できる環境が整備されていることは高く評価できます。1講座当たりの参加者はどうなのか、検討して、より良い活動を期待しています。
・市民が講師となれる環境が良い。今後の内容の充実を期待する。

④まちづくりへのボランティア参加の調査・研究

・参加促進はできていると思う。今後は各課情報を出せる環境を整えていけると良いと思う。
・先進事例の調査・研究も進め、今後の活動に期待します。情報提供の場を市民活動センタープリオだけでなく、他に拡げられると良い。
・市民ボランティア情報提供システムの周知を図る必要がある。
・前年度に行った調査・研究が計画に反映されたことは良いと思う。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	３．５	３．３	３．６	３．７	４
（市評価）	３．６	３．４	３．９	４．１	４．１

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（1）参加促進	ウ　参加しやすい環境整備

具体策			概要
①誰もが参加しやすい講座などの企画・開催			市民活動参加者の裾野を広げるため、誰もが気軽に参加できるような体験型講座を企画・開催します。市民活動への参加につながるきっかけをより多く提供するため、世代別、テーマ別に対象を特定するなど、講座内容の充実に努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	４．１	４．１	
②講座や研修における託児の配慮			子育て中の世代などが気軽に参加できるよう、講座の企画にあったては、できる限り託児付きとなるよう配慮します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
③親子や夫婦、家族での参加が可能なプログラムの企画・開催			親子・夫婦・家族等の幅広い世代にわたって、気軽に参加できるようにプログラムの工夫をこらし、生活に身近な課題を解決する体験型講座を企画・開催します。
評価	委員会評価	市評価	
	４．１	４．４	

委員会の意見

①誰もが参加しやすい講座などの企画・開催

・各種講座の内容を充実させる努力が感じられた。
・受講者がその後、活動に結びついた実績ができたことが良い。
・予定通りできたことは評価できます。今後も講座内容の充実に努め、多くの人に参加していただける事を望みます。
・世代別・テーマ別に対象を特定した講座の企画は良い。

②講座や研修における託児の配慮

・託児については、1歳未満の不可の話を耳にする。豊川市の考え方をわかるように明記したほうが良い。
・予定通り実施できて良いと思います。今後も参加者が安心して気軽に取り組める講座の企画を望みます。

③親子や夫婦、家族での参加が可能なプログラムの企画・開催

・参加しやすいプログラムの設定は評価したい。
・内容はともかく、家族・親子で参加できるよう取り組んだ姿勢は高く評価できます。より充実したものを期待します。
・参加しやすいように工夫しているのが評価できる。
・講座数を増やすことができたので評価する。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	4	3．9	3．6	3．7	4
（市評価）	4．4	4．2	3．8	4．2	4．2

様式２

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（１）参加促進	エ　地域での協働の促進

具体策			概要
①地縁組織などを母体とした組織の育成			身近な地域における課題を解決する市民活動やアダプトプログラム による住民サービスが向上するよう、地縁組織などへの啓発を行い、地域住民を母体とした組織の育成を図ります。そうした地域活動と企業の連携を促進させるとともに、自主的、継続的な活動への支援を検討します。 また、地域の活性化と次世代リーダーの育成を図るため、子どもを含めた地域活動の活性化を検討・実施します。
評価	委員会評価	市評価	
	４	４．１	
②町内会活動の活性化			地域への関心を高め、住民相互の連帯感を醸成するため、町内会活動の活性化を促進します。町内会加入促進への支援、町内会と市民活動団体との連携の促進などに取り組むほか、町内会活動の拠点である地区集会施設等の環境整備への支援も合せて行います。さらに、市民協働を促進するため、町内会等の地縁組織への市民協働に関する情報を提供します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．９	４	
③団塊の世代などの市民活動への参加の促進			団塊世代の豊富な経験や知識を地域社会の発展に活かすよう、団塊世代の市民活動への参加を促進します。町内会役員やPTA役員を経験した方に地域活動に取り組むよう啓発（広報とよかわ、ホームページ（市、センター）の活用）し、参加の促進を図ります。このほか、市民活動への参加方法の研究、アンケート調査、リーダー養成講座への案内に取り組みます。
評価	委員会評価	市評価	
	４	４．５	

委員会の意見

①地縁組織などを母体とした組織の育成

・地縁組織については、町内ごと温度差があると思う。今後は事例から学べる活動について、ともに考える機会を持つと良い。社協のCSWなどの活用も考えていくと良いと思う。
・アダプトプログラムの登録数の増加は評価できます。子どもを含めた地域活動の活性化が充実し、推進することを願っている。
・地域活動の活発化はとても重要なので、今後の活動に期待する。

②町内会活動の活性化

・町内会のひみつについては、大変工夫されていると思う。今後も活性化にむけ努力が必要。
・町内会のひみつの冊子ができたことにより、必要性を学ぶことができたと思う。
・町内会のひみつの冊子を作成し、授業で学ぶ機会を設けたことは高く評価できます。今後も町内会の良さを広め、加入率の向上に努める必要を感じます。
・町内会加入促進への支援が進んでいるように思う。小学生だけではなく、町内会を支える次の世代にも町内会について学ぶ機会があれば良いと思う。
・小学生向けの冊子の配布は良いと思う。

③団塊の世代などの市民活動への参加の促進

・実績はまずまず出来ていると思う。シルバー人材センターとの連携も考えると良い。
・学校サポーター事業が市内各地で実施され、登録者数も増えた事は評価できます。市内には多くの優れた人がいます。いろいろな経験をボランティアで活用できると良い。

評価		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	（委員会評価）	３．５	３．５	３．９	３．９	４
	（市評価）	３．９	３．９	４．２	４．２	４．２

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（２）環境整備	ア　活動情報の提供と団体交流の促進

具体策			概要
①活動情報の収集・提供と情報の一元的管理の推進			市民活動団体や地縁組織の活動に関する情報を収集し、発信（「広報とよかわ」、ホームページ(市、センター、どすごいネット)、センターだよりなどの活用）するとともに、収集した情報は一元的に管理します。さらに、市民協働に関する活動情報をまとめ、これを提供することで団体間相互の連携を促進します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．６	４	
②活動を発表する機会の提供			おいでん祭へのブース出展、ふれ愛みんなのフェスティバルや、どすごい交流会などの交流会への参加を市民活動団体に呼びかけ、活動を発表する機会を提供します。また、ホームページ（市、センター、どすごいネット）などで市民活動を紹介をするとともに、団体のPR情報を発信する場としても提供します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．６	４	
③企業の社会貢献活動などに関する情報の収集と提供			企業の社会貢献活動情報を収集し、ホームページ（市、センター、どすごいネットのホームページ、「みてみン！」）などの情報媒体を活用することで市民活動団体や地縁組織などに幅広く情報を提供します。市民活動団体と市との協働のみならず、市民活動団体、地縁組織、企業などとの協働についても促進を図るため、相互のニーズをマッチングさせるための仕組みづくりや情報交換の場を検討します。
評価	委員会評価	市評価	
	３	３	
④市民活動団体や地縁組織、企業などとの交流会の開催に向けた調査・研究			市民活動団体や地縁組織、企業などとの連携や意見交換、相互理解、情報共有の場としての交流会に対するニーズの把握に努めます。そうした交流会の先進事例について調査・研究を進め、開催に向けて検討し、実施します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	

委員会の意見

①活動情報の収集・提供と情報の一元的管理の推進

・今後も積極的に努力していく必要があると思う。どすごいネットについては、検討が必要。
・ホームページ・センターだより等で情報発信に努め、とよかわボランティア・市民活動センタープリオで情報収集、一元化が推進できたことは評価できます。
・情報の発信に力を入れて欲しい。市民にどの程度周知されているか調査し、改善する姿勢が必要。

②活動を発表する機会の提供

・実績は例年通りできたと評価できる。団体の活動発表への意欲ができると良いと感じる。
・ニーズとともに活動内容も変わっていくことも考えられるため、発表する機会は必要だと思う。
・おいでん祭等で活動を発表する機会が提供できた事は評価できます。どすごいネットの活用は今後も課題だと感じます。
・どすごいネットの更新が少ないと思う。

③企業の社会貢献活動などに関する情報の収集と提供

・企業との協働が推進される機会が必要と感じる。今後も調査研究の工夫が求められる。
・企業も地域貢献を望んでいると思います。お互いが上手く活動でき、協働できるよう努力が必要です。
・企業のイベント等の取材をして連携を取っていくのはどうか。

④市民活動団体や地縁組織、企業などとの交流会の開催に向けた調査・研究

・アンケートより、調査はできたと感じる。前年より成果があったと思っている。
・市民向け協働出前講座を通じて多くの情報を得ることができたと思うので、次回に生かせるとよい。
・「協働のまちづくりについて」の講座開催を実施したことは評価できます。今後の取り組みに期待する。
・どうしたら交流会に参加してもらえるかしっかりと検討して欲しい。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	３．１	３．２	３．４	３．６	３．５
（市評価）	３．３	３．５	３．５	３．８	３．８

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（２）環境整備	イ　活動場所の確保・充実

具体策			概要
①とよかわボランティア・市民活動センター登録制度の推進			市民活動団体の活動を促進するため、センターに登録することで利用できるサービス内容を広くPRし、センター登録制度の推進を図ります。公益性のある市民活動団体を支援する制度となるよう、登録要件や手続きなどの見直します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．７	４	
②とよかわボランティア・市民活動センター機能の充実			センターにおいては、市民活動団体、企業、市などとのパイプ役を担うコーディネート機能の強化を図るとともに、相談機能、情報の収集･提供機能の充実など、センター機能の充実に努めます。また、市民活動の総合窓口であるセンターのPRに努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．７	４	
③地域における市民活動の場づくりの検討			地域で活動する市民活動団体が身近な活動場所として活用できる公共施設の現状を把握し、その活用を検討します。なかでも、地区市民館や地区集会施設はコミュニティ活動の拠点であり、地域住民と市民活動団体が出会う場として期待されます。市民活動団体と地域コミュニティとの調整に努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．２	３	

委員会の意見

①とよかわボランティア･市民活動センター登録制度の推進

･登録制度については、円滑に推進されていると思う。センターの周知も進んできていると感じる。

･センターの周知、PRが適切に実施されていることは良い。今後も利用者の意見を集約して、より良い方法を検討してください。

②とよかわボランティア･市民活動センター機能の充実

･センター機能の充実が図られていて市民交流ホールを活用した情報収集･提供の充実もあり、評価でる。

･センタープリオの設置場所の検討をお願いしたい。

･センターの認知度を上げる努力が必要だと感じる。

③地域における市民活動の場づくりの検討

･地域の活動場所が増え、活動が推進されてきた。市の設置している場所以外にも工夫できる場づくりの提案がされると良いと思う。

･市全体からみると課題も多いので評価が低いのかもしれませんが、地域によっては集会所･市民館･小学校等を利用して活発な活動を展開していて評価できます。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	３．８	３．５	３．５	３．６	３．５
（市評価）	４	３．７	３．７	３．７	３．７

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（２）環境整備	ウ　人材育成と団体運営の支援

具体策			概要
①市民活動団体やボランティア育成講座の開催			既存の市民活動団体の活動の活性化や、市民活動への参加の裾野を広げるため、人材育成講座やボランティア育成講座を実施します。講座の企画においては、多様化する市民ニーズの把握に努めるとともに、市民活動団体の専門性や先駆性などを活かした体験講座を実施します。また、講座受講後に、活動につなげることができるようなフォローアップ体制を検討・実施し、改善していきます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．９	４．２	
②コーディネーターの育成と相談窓口の充実			市民活動団体と地縁組織、企業などをつなぐコーディネーターの養成に努めます。センターにおける市民活動相談窓口をPRするとともに、センターにおける相談対応能力の向上と、コーディネート機能の向上を図ります。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
③リーダー養成事業の検討・実施			市民活動団体の課題点としてあげられる後継者不足を解消するため、リーダーの養成（先進事例の調査・研究、事業の検討・実施）に積極的に取り組みます。
評価	委員会評価	市評価	
	４．２	５	
④中間支援団体への支援に向けた調査・研究			市民協働によるまちづくりを活性化するには、市民活動団体、地縁組織、企業などをつなぐコーディネート機能の充実が重要となります。コーディネート機能を持った中間支援団体を支援するため、先進市の中間支援団体のあり方を調査・研究し、その支援について検討・実施し、改善を行っていきます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．７	４	
⑤市民活動総合補償制度の充実と制度の周知			公益性のある市民活動や地縁組織の活動などの中で発生する不慮の事故に備えた「市民活動総合補償制度」について、制度内容の充実を図るとともに、広く周知します。現在の制度では、対応していない「有償ボランティア」の保険対応について調査・研究します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．１	３	

委員会の意見

①市民活動団体やボランティア育成講座の開催

・講座の開催は充実していたと感じる。しかし、フォローアップの参加者募集について工夫が足りない部分もある。今後は、例年フォローアップするということが目的にならないように、適切に開催する必要があると感じる。

・予定通りの講座の実施があり、多くの参加者もいて評価できます。今後より多くの参加者が終了後に活動につながると良い。

・育成講座が次の活動につながるよう、参加者に様々な情報提供をして欲しい。

②コーディネーターの育成と相談窓口の充実

・センターで各種相談を受け、成果がでてきていると感じる。

・センター運営を専門的知識が豊富な団体により行われていることは評価できる。

③リーダー養成事業の検討・実施

・リーダーの養成について適切に成果がでていると感じる。今後は若者リーダーの養成も検討すると良いと思う。

・コミュニティリーダー養成講座の実施は評価できる。今後の活動をより活性化するなら、参加者を若い世代にも呼びかけると良いと思う。

④中間支援団体への支援に向けた調査・研究

・中間支援と行政の協働をよりよく行い、事業を通じてお互い育ち合えると良い。

・センター運営は、指定管理者がしっかりしていて評価できる。

⑤市民活動総合補償制度の充実と制度の周知

・総合保障制度の周知については、できていると思う。しかし、ボランティア保険との案内での混乱は未だあり、さらに周知徹底をする必要も感じる。

・市民活動総合補償制度はある程度、周知、充実されていると思う。保険制度の調査・研究はより良い制度にするためにも努力が必要。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	３．８	３．４	３．７	３．６	３．７
（市評価）	４．２	３．８	４	４	４

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（２）環境整備	エ　資金的な支援制度の整備

具体策			概要
①資金支援制度の検討・整備			市民活動団体の発展を支援する一つの手段として資金的支援を実施し、協働事業を促進します。NPO法人等についても安定的に事業を展開できるように資金的支援を実施します。支援にあたっては、目的と効果を十分に検討して制度を整備し、実施後の効果を検証するとともに、適宜、改善を行っていきます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
②税制優遇制度の検討			NPO法人の経営の安定化を図るため、現行のNPO法人運営支援費補助制度（NPO法人を対象として法人市民税の均等割額の減免）を継続します。また、NPO法改正（平成23年）に基づき条例個別指定基準の導入を始めとする税制優遇制度の導入に向けた調査・検討を行います。
評価	委員会評価	市評価	
	３．７	４	
③寄付制度に関する情報提供や意識啓発			市民に対して寄付の方法や資金の使途、寄付が市民活動への参加の一つの形態であることなど、寄付文化の醸成に必要な意識啓発を行います。市民活動団体やNPO法人に対しては、寄付者への成果の還元方法についての情報提供などを行い、寄付がしやすくなる環境の構築に努めます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．９	４	

委員会の意見

①資金支援制度の検討・整備

・補助金申請も順調に成果があがったと感じる。補助金について、これからも調査研究は行っていくと良いと思う。
・NPO法人に対する運営支援補助もでき、新しく6団体の申請があり、ある程度の成果をみることができる。多くの団体が活動に困らないように支援して欲しいと思う。
・団体活動をしっかり支援できていると思う。

②税制優遇制度の検討

・優遇制度については、これからも周知が必要と感じる。団体にとっては、朗報であり、今後も調査に期待したい。

③寄付制度に関する情報提供や意識啓発

・寄付をしやすくなる環境の整備や意識啓発は必要と感じる。使途について、工夫をして情報提供をして欲しい。
・寄付の件数、金額も増えており、啓発できているのが分かる。
・ふるさと納税の返礼品提供事業者の増加、全国へのPR活動、寄付金額の増加等、評価できる。今後も豊川市の魅力を発信して欲しい。
・今後も意識啓発をしていく必要があると感じる。
・豊川稲荷赤坂別院のPRを今後も続けて欲しい。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	２．７	３	３．４	３．７	３．８
（市評価）	２．７	３．３	３．７	４	４

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（３）協働推進	ア　協働推進に向けての意識啓発

具体策			概要
①協働推進研修の実施			市民の協働への関心を高めるため、市民活動団体などと連携し、協働意識を醸成するための研修や協働の手引きに関する研修を実施します。また、協働に関する研修は、先進市の調査・研究を行いながら、研修内容を改善していきます。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
②市職員への意識啓発			市職員の協働意識の向上を図るため、市民活動の現状に関する研修、協働の手引きを用いた研修などを実施します。これにより職員全体の協働意識の向上を図り、協働事業の実践へとつなげていきます。また、ボランティア休暇制度などの活用を周知し、市民活動への参加を促します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．９	４	
③協働事例発表などによる意識啓発			市民、企業、市職員の意識啓発として、または、新たな協働事業を生み出す手本として、先駆的あるいは効果をあげた協働事例を調査・研究し、情報提供します。市民協働の進展ともに、市民活動団体、地縁組織、企業などが協働事例を発表する場づくりを検討し、実施します。
評価	委員会評価	市評価	
	４．３	５	

委員会の意見

①協働推進研修の実施

・研修については、あらゆる講座を開催し成果が評価できる。今後も多くの団体、企業、行政職員に向け、学ぶ機会を持つことを期待している。

・「協働のまちづくり出前講座」を7回実施できた事は評価できる。より多くの人に理解を深めていただけるよう、今後も改善してより良いものにして欲しい。

②市職員への意識啓発

・職員の研修については、繰り返し学ぶこと、意識を変えることを求めて啓発していると評価できる。

・職員の協働意識の向上がみられたことは良い。地域活動や市民活動への参加が意欲的になると市全体の活力が上がると思う。

③協働事例発表などによる意識啓発

・協働の事例も着実に増え、意識向上が図れたと感じる。

・市民協働推進事業補助金の審査に公開プレゼンテーションを行い、メディアを通じて、広く周知できたことは高く評価できる。今後はより多くの協働事業が増え、活性化できるといいと感じる。

・発表の機会があることで各団体は活動を積極的にできると思う。メディア等を使った活動の周知はとても大切だと思う。

・公開プレゼンテーションの実施は評価できる。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	４．２	３．７	３．９	３．７	４
（市評価）	５	４	４	４	４．３

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（３）協働推進	イ　市民の声・情報の共有

具体策			概要
①市民や企業の多様な意見の収集・公表			市民や企業からの意見を幅広く収集するため、懇談会、パブリックコメント制度、モニタリング制度、アンケート調査などを活用します。収集した意見は、公表することにより情報の共有化を図ります。また、地域に関わるさまざまな立場の方が参加し、地域課題の解決に取り組むワークショップについて調査・研究し、検討のうえ導入します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
②市政情報の公開と共有			市政情報の見える化を推進するため、積極的な情報公開に取り組むとともに、情報の共有化を図り市民の市政への関心と参加意識の醸成を図ります。
評価	委員会評価	市評価	
	３．３	３	
③市民の審議会などへの登用推進			政策の企画・立案から決定の過程までへの参画を推進するため、審議会等見える化ガイドラインに基づき、審議会等への市民公募による登用を推進します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．１	３	

委員会の意見

①市民や企業の多様な意見の収集・公表

・モニタリング等丁寧に意見の収集は行われていると感じる。パブリックコメントについては、市民の市政に対する関心が増えてくれると良いと思う。

・「市長を囲む懇談会」やパブリックコメントを実施することで、市民の意見を収集できたことは評価できまるが、今後より多くの地区で意見を収集できると良い。町内会のアンケート調査も精査して、各町内会長の負担軽減を図り、地域の課題解決に努めて欲しい。

②市政情報の公開と共有

・広報とよかわも斬新なカラー刷りも入れ込み大変見やすくなったと感じる。他市からも評価の声を聞く場面がある。市政情報で見える化に努力していることは成果として挙げてよいと思う。

・あらゆる手法で、情報公開に取り組む姿勢は評価できます。「みえる化」の推進をより進めて、多くの市民が市政に関心が持てる努力を継続して欲しい。

・市公式ツイッター・フェイスブックを目にする機会が多い。

・SNSの周知が足りないと感じる。今後、工夫が必要だと思う。

③市民の審議会などへの登用推進

・登用も様々なメンバーを募り、推進されていると思う。もっと市民が市政に興味が持てるように周知していく必要があると感じる。

・全ての審議会に市民公募が必要とも思わないが、市民の声を聞く機会を増やして、市民が積極的に市政について考えてくれるように取り組んで欲しい。

・今後も市民公募が増えるといいと思う。

評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
（委員会評価）	３	３．１	３．３	３．３	３．４
（市評価）	３	３	３．３	３．３	３．３

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（３）協働推進	ウ　協働推進体制の整備

具体策			概要
①協働の手引きの普及・啓発			市民協働におけるルールなどを定めた「協働の手引き」の見直し（市職員向けと市民向けを作成）を行い、「協働の手引き」を市民、企業、市職員へ広く普及・啓発するとともに、「協働の手引き」の研修を実施することで、市民協働の活性化を促進します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．７	４	
②市民と行政の協働推進委員会の運営・改善			市民と行政の協働推進委員会において、実施計画に基づく事業の評価や進捗管理、市民協働の推進に関する施策について協議を行います。社会情勢の変化を踏まえ、市民協働の進展につながる組織となるよう、委員構成や所掌事務などの改善を必要に応じて行います。
評価	委員会評価	市評価	
	４．６	５	
③市民協働事業の実施と評価制度の充実			市民協働事業の実施にあたっては、事業の目標を明確にし、事業の成果を評価制度に基づいて評価します。評価制度は市民協働の実態にあったものとなるよう、制度の充実に努めます。また、市民活動団体などからの提案による協働事業については、その制度化に向けて調査・研究のうえ整備し、改善を図ります。
評価	委員会評価	市評価	
	４	４	

委員会の意見

①協働の手引きの普及・啓発

・手引きの啓発は、今後も必要と感じる。前年よりは工夫を感じられる。
・設置し始めの頃はよく見かけていたが、次第に見かけなくなり、普及できていないように感じた。部数を増やせるのであれば増やして、より多くの方の目にとまると良い。
・各種講座で配布し、市民・企業・市職員へ広く研修を実施してきたことは評価できる。
・手引きの内容が分かりやすくていいと思う。

②市民と行政の協働推進委員会の運営・改善

・委員の意見を取り入れる姿勢がとても良いと感じる。行政職員との座談会など今後企画していくのも良いと思う。適切に運営できていると感じる。
・委員会において「とよかわ市民協働推進計画」を策定したことは高く評価できる。

③市民協働事業の実施と評価制度の充実

・評価を丁寧に行っていることは大変良いと感じる。制度化にむけた検討については、今後に期待したい。庁舎内のネットワークを充実させることが必須と感じる。
・各事業を着実に取り組んでいて評価できます。提案型協働事業について体制を整えているのは良い。さらなる前進を望みます。

評価		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	（委員会評価）	４．２	４	４．１	４．１	４．１
	（市評価）	４．３	４．３	４．３	４．３	４．３

様式2

平成２９年度　とよかわ市民協働基本方針施策評価票

方針名	施策名
（４）施策推進	ア　施策の評価と基本方針・実施計画の見直し

具体策			概要
①市民と行政の協働推進委員会による市民協働の施策に対する評価、公表			市民協働基本方針の実効性を高めるため、本実施計画に基づいて市が実施した事業の成果や課題、進捗状況について市が評価するとともに、市民と行政の協働推進委員会においても評価します。その結果を公表し、透明性と公平性を確保します。
評価	委員会評価	市評価	
	３．４	３	
②市民協働基本方針の見直し			社会情勢の変化とともに、市民協働を取り巻く環境も変化します。その変化に対応するため、5年を目途に基本方針を見直します。見直しにあたっては、市民、市民活動団体、企業を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果に基づいて行います。
評価	委員会評価	市評価	
	３．８	４	
③実施計画の見直し			市民協働基本方針の見直しに合わせて実施計画を見直します。ただし、実施計画の事業の進捗状況によっては、適宜、見直すこともあります。
評価	委員会評価	市評価	
	４	４	

委員会の意見

①市民と行政の協働推進委員会による市民協働の施策に対する評価、公表

・評価については、明確に評価でき、公表も行っているので良い。

・市民協働推進委員会において評価を行い、ホームページで評価内容を公表しているのは良い。

②市民協働基本方針の見直し

・委員会での意見集約、またアンケート実施、分析で前向きな成果が出たと感じている。

・アンケート調査をもとに「とよかわ市民協働推進計画」に意見を収集し、現状にあった計画ができたと思う。

・調査の結果を計画に反映しており、評価できる。

③実施計画の見直し

・推進計画を策定し、今後は状況を検討しながら更なる協働推進にむけて施策を推進してほしい。

・委員会で5回審議し、計画を策定できたことは高く評価する。今までの課題を考慮して、新しい施策を推進して欲しい。

評価		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	（委員会評価）	３．８	３．２	３．２	３．３	３．７
	（市評価）	４	３	３	３	３．７